

## ■ 坂本直寛は坂本龍馬の甥

坂本龍馬は、父・八平(直足)、母・幸、長男権平(直方)、長女千鶴、次女・栄、三女・乙女、次男・龍馬(直柔)の5人兄弟で、33歳で京都川原町近江屋で暗殺されました。

司馬遼太郎「龍馬が行く」、NHK大河ドラマ「龍馬伝」では病弱な母に代わり当時としては大柄な乙女姉さんに鍛えられるなどの竜馬の姿、脱藩し岩崎弥太郎との関係、亀山社中、海援隊、倒幕のため薩長連合から大政奉還へと歴史上、近代日本建国に赴いた幕末の志士です。

また、妻となる龍(りょう)は伏見池田屋事件で、入浴中に風呂から飛び出して薩摩屋敷に急を知らせるなど、お龍さんは龍馬の危機を救う献身的な妻でしたが、龍馬とお龍の仲には子供はいません。

坂本家継承のため長女千鶴の次男であった高松南海男を、長男権平の養子に迎えられ、34歳の時に南海男から直寛に改名しました。

坂本直寛は叔父と同じ志のように、自由民権運動に進み基督教の布教「潔き義に生きる神の国」の理念を持って北光社を創立しました。

基督教北見教会は北光社の方々が開き、札幌北1条教会は直寛が設立していますが、直寛の資料は北見には残されていません。

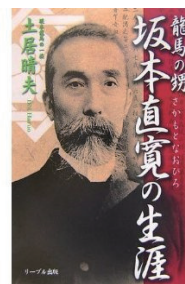
直寛の資料は浦臼町の坂本直寛資料館で見学することができます。

直寛の孫にあたる坂本直行は、画家として有名で帯広の銘菓 六花亭の包装紙にも使われ、中札内には坂本直行記念館が直行の絵画を展示しています。

\* 北光社については、坂本直寛の甥にあたる神戸市在住土居晴夫氏のアドバイスをいただきました。



▲ 坂本 直寛



▲ 土居 晴夫著書

## 第7節 屯田兵の功績

屯田兵とは、士族を対象とした兵士で、明治政府はロシア軍南下による北方警備、特に北海道の警備と開拓が重要で、国策として士族を募集しました。

明治政府は、原則として士族を募集しましたが実際は屯田兵募集当局に平民を拒む意思はなく、前期を士族屯田・後期を平民屯田と時代区分もできます。

明治7年(1874年)明治政府は屯田兵例則を定め、翌年の明治8年には札幌琴似村に入村し、明治32年(1899年)には道内に37の兵村が置かれています。

屯田兵制度は明治37年(1904年)に廃止されますが、背景には永山武四郎が師団長となった第7師団の設置と、開拓が進んだことによります。